

歴史遺産の古道と ふるさとの魅力再発見

—出雲街道に関する活動報告—

岡山県真庭市 出雲街道 勝山宿の会

出雲街道 勝山宿の会代表 石川 日出夫

「出雲街道（姫路～松江）」は古来より、出雲と大和朝廷を結んだ、重要路線として開設され、街道の整備を待つて、和銅6年（713年）に備前国から分離し、美作国が誕生したと伝わっています。以来1300年の歳月を経ています。

時代と共に道筋は変遷を重ねていますが、近年は開発によるほか、道の消失もあって忘れられた存在になりつつあり、存続が危惧されており、後世に残し伝える必要があります。

回っている地図がないことが判明し、有志（3名）で地図作りに挑戦しました。

真庭市を中心として、4月中旬より調査を始め、津山市・坪井より鳥取県日野町・吼根までの約57キロメートルを歩いて調べて、地図を完成し、6月に新聞へ発表しました。

続いて第2弾として、9月より兵庫県境（万能丸）より津山市・坪井までを調査し、12月に「出雲街道地図（2）」として発表しました。

地図作成の過程から、消失した道があり、保存して後世に伝えるため、活動する必要があると思い、友人知人（25名 現在22名）を集合して「出雲街道 勝山宿の会」を平成23年3月に設立しました。

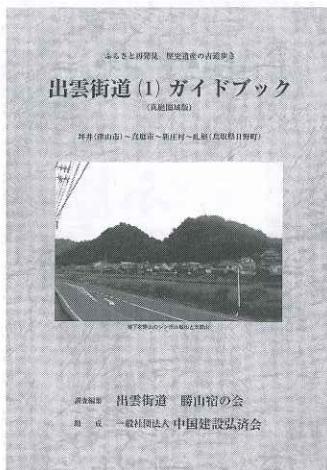
平成22年2月頃、仲間内で「出雲街道」が話題となり、出版物はあるが、一般に出

道しるべ石の建立

設立以来、県、市役所に出向き、会の趣旨を説明し、陳情して回りましたが、なかなか色良い回答は得られず、空回りをしていましたが、平成24年度に申請した「福武教育文化振興財団」より助成（20万円）を受け、寄付金（40万6千円）を得て、「平成の道しるべ石」15基を旧勝山町地内に建立した。引き続き25年度は「福武財団」より、助成（25万円）と寄付金（3万円）で、同じく5基を建立する。平成28年には、「中国建設弘道会」より助成（25万円）と寄付金（11万8千円）で、旧勝山町の東西2カ所へ「勝山宿」の石碑を建立して、旧勝山地区の道しるべは完成した。

地図の作成と会の設立





出雲街道（1）ガイドブック刊行

最初の地図を改訂したので、この機会に会の集大成として「ガイドブック」の刊行を思い立ち、「中国建設弘済会」よりの助成（30万円）を受け、企業団体31の諸社団より協賛金（31万円）で、国土地理院の許可を受け、発刊し、公共団体、図書館、学

「出雲街道（1）ガイドブック」の刊行

（約1・5キロメートル）され、敷設されるマンホール蓋に「出雲街道」の銘を入れることを市役所に提案し実現する。

街道歩こう会の開催

歩こう会の開催は、歩くことにより運動と健康に寄与し、歴史文化に接し、景色風景（沿線には名勝地あり）を愛で、観光振興にも繋がり、町村おこしと地域の活性化を促す等、あらゆる面に良好な影響を及ぼす企画となっている。

【出雲街道を歩こう会】

平成23年より、岡山県及び真庭市役所へ「出雲街道」を歩こう会の提案をしておりました。が、色良い回答はありませんでした。平成25年度が「美作国建国1300年」に当たることが発表されたのを知り、24年



新旧の道しるべ石。古いのは元禄時代、並んで平成の道しるべ



「勝山宿」の標識石を建立する

**街道マンホール
蓋の敷設**

本郷地内の下水道
が、平成26年度より
3年計画にて施工

校等へ寄付し、残部
は希望者へ頒布して
いる。



第7回出雲街道を歩こう会
鳥取県境より難関の四十曲峠を越えて一息

【大山みちを歩こう会】

美作国建国1300年記念行事が終わ

翌25年は、メインイベントとして、第2回、第3回の「出雲街道を歩こう会」を開催、平成27年からは、当会単独主催で真庭市後援となり、第4回、第5回、第6回を実施。平成28年10月は第7回（最終回）となり、新庄村の後援を得て「出雲街道を歩こう会」は全線踏破し、無事終了しました。また、当会では開催に先立ち、草刈り（1区4区5区6区）道補修（4区5区）を実施しています。



第4回大山みちを歩こう会。野道を行く一行

「出雲街道」が平成28年に終わり、今後の活動を何にするかと悩んでいたが、「大山みち」を続けることになり、全線を6分割して平成29年5月より第2回（第1区）より始める。以後、第3回、第4回（平成30年4月）と消化、後2回を残すのみとなっています。

来年5月には終了の予定です。春は、助成中国建設弘済会、後援真庭市、秋は、

結成以来8年目を迎える会員の高齢化が進み、やるなら今しかないと、平成30年3月より、「出雲街道、再発見の旅」と題して、出雲街道の映像化を資金もないのに急に思い立ち、第1区、第2区の撮影は終わり、編集も進行して完了間近です。本年中には第7区まで映像化して、後世に伝える資料に供したいと思います。なお、撮影にはド

「出雲街道」の映像化

近年「出雲街道」を歩く個人、小グループ、団体が増え、ガイドブックの需要が時々あります。団体では23年3月に関西方面より（小野謙一隊長、堺市）30数名来勝、旧勝山町内の8・5キロメートルを当会7名が同伴して案内する。

平成28年10月 宮沢賢治隊（金子正孝隊長）一行24名を、坪井→勝山間を案内。

平成29年4月 宮沢賢治隊が21名で再来勝、勝山→新庄間を同伴、7名で案内する。

ローンを駆使して、街道の今までにない映像が実現できています。創立当初は高邁な理想、志、目的はありませんでしたが、提案した事業は会員の賛成協力のもと、完成することができ、感謝いたします。いつの間にか平均余命を越え、超高齢者となりましたが、限界まで頑張ります。なお、会報誌「瓦版出雲街道勝山宿の会」は隔月に発行し、現在47号となっています。



大山みちを歩こう会制作DVD表紙



大山みちを歩こう会のお知らせ